

シムジア[®]による乾癬治療を受けられる方へ

シムジア[®]自己注射 確認チェックシート

～シリンジ、オートクリックス[®]～

シムジア[®]による治療を開始された方が、自己注射が可能か、医療関係者・患者さんご自身をご確認する際に、本チェックシートをご活用ください。

シムジア自己注射確認チェックシート

発熱やその他の体調の異常を認めた際には注射する前に主治医へ確認しましょう。

自己注射に関する事項

確認日	月	日
● シムジアの自己注射をする上で		
投与間隔、注射日を理解している		
気になる症状があらわれた場合に、主治医(かかりつけ施設)に連絡する方法を知っている		
箱のまま冷蔵庫で保管する(凍結させないように注意する)		
● 注射準備		
シムジアを冷蔵庫から取り出し、室温に戻す(30分程度が目安)		
注射するための清潔な場所を確保し、手を石鹸で洗う		
注射器の破損、注射液の粒子・変色がないか確認する		
必要物品を揃え、配置マットに並べる		
● 注射方法／手順		
注射部位を正しく選ぶ(腹部、大腿部)*		
注射部位の皮膚をアルコール綿で消毒する(注射するまで触れない)		
安全・清潔にキャップを外す(注射器を横に向け、キャップを真っ直ぐに引っ張る)		
ーオートクリックス®ー		
注射部位に対して90度の角度で当てる		
注射器を押し込み、「カチッ」という確認音が2回鳴るまで体から離さない		
ーシリンジーー		
注射部位の皮膚をつまむ		
医療従事者に指示された角度で注射針を刺す		
ゆっくりと薬液を注入し、ピストン棒を最後まで押しきる		
薬液がなくなったことを確認後、注射針を抜く		
注射終了後、注射箇所をアルコール綿で10秒ほど軽くおさえ、止血を確認する(注射箇所をもまない)		
● 注射後		
注射器に再度キャップをしない		
注射器、キャップ、アルコール綿を所定の方法で捨てる		
注射後、「CIMZIA NOTE」などに、注射の記録をする		

本剤のリスクに関する事項

裏面の副作用についてシムジアでみられる可能性があることを理解する

MEMO：次回投与時の注意点や確認事項などを記入してください。

※ ● おへその周囲5cmは避ける ● 皮膚症状やケガ、痛みがある部位は避ける
● 医療機関で指導を受けたご家族の方が注射される場合、上腕部にも注射可

シムジアでみられる副作用

● 国内の臨床試験で頻度の高かった副作用

鼻咽頭炎、上気道感染

鼻やのどに炎症を起こし、くしゃみ、鼻水、鼻づまりを主症状とし、ときにのどの痛みを伴います。頭痛、倦怠感、寒け、食欲不振などの軽い全身症状もみられます。

咽頭炎

ウイルスや細菌の感染により咽頭粘膜に炎症を起こし、のどが赤く腫れ、痛みがみられます。

気管支炎

ウイルス感染により気管支粘膜に炎症を起こし、せきや痰がみられます。

帯状疱疹

水痘・帯状疱疹ウイルスによる皮膚の感染症で、痛みを伴う発疹がみられます。

肝機能異常

肝臓の機能が障害され、肝機能検査値が上昇します。

● 国内または海外で確認されている重大な副作用

敗血症、肺炎などの重篤な感染症

シムジアのようなTNF α のはたらきを抑える治療を受けると、免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなることがあります。敗血症(感染が血液の流れによって全身に広がった状態で、発熱、寒け、震え、発汗などがみられる)や肺炎(せき、痰、発熱、寒け、息苦しさなどがみられる)などの重篤な感染症があらわれることがあります。

結核

結核菌による肺の炎症で、過去に結核を患ったことのある患者さんでは、再び症状があらわれるおそれがあります。せき、痰、発熱、体重減少などがみられます。

重篤なアレルギー反応

アナフィラキシーと呼ばれる急激で強いアレルギー反応(呼吸困難、血圧低下、意識消失)があらわれることがあります。

脱髄疾患

神経線維の一部が破壊される疾患で、新たに発症もしくは悪化することがあります。代表的な疾患に多発性硬化症があります。多発性硬化症では、視力障害(視力の低下、物が二重に見える、眼球が震える、目の痛み)、しびれ、歩行障害がみられます。

重篤な血液障害(汎血球減少、血小板減少、白血球減少、顆粒球減少等)

血液中の赤血球、白血球、血小板などが減少することがあります。

抗dsDNA抗体の陽性化を伴うループス様症候群

自分の体に対する抗体があらわれ、関節痛、筋肉痛、皮疹などの症状があらわれることがあります。

間質性肺炎

肺炎のなかでも肺胞間質に起こる肺炎で、発熱、空咳、動いた後の息切れなどがみられます。

シムジアでみられる副作用については、**「シムジア®による治療を受けられる方へ」**の16ページでもご紹介しています。

